

【議題 1】

愛泉会日南病院の病床再編（一部休床及び機能転換等）について

社会福祉法人愛泉会 理事長 西島 元利
日南市大字風田 3 6 4 9 - 2

社会福祉法人愛泉会から、一部病床について、令和 6 年 1 0 月の休止を経て、同年度中に機能転換等を行いたい旨の申し出がありました。

※ 詳細については、資料 1 - 2 を参照ください。

日南串間地域医療構想調整会議 議長 殿

社会福祉法人愛泉会
理事長 西島 元利

病床再編（一部休床及び機能転換等）について

1 病院概要

- (1) 病 院 名 愛泉会日南病院
 (2) 診療科目 内科、整形外科、小児科
 (4) 病 床 数 一般病床 184 床（一般病棟 58 床、重心病棟 126 床）

2 再編計画の内容

(1) 休床（令和 6 年 10 月 1 日～）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床
変更前	0	58	0	126	0
変更後	0	0	0	126	58
増 減	0	△58	0	0	58

(2) 機能転換、ならびに一部削減（令和 6 年度内）

	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床
変更前	0	0	0	126	58
変更後	0	0	0	180	0
増 減	0	0	0	54	△58

3 病床再編の背景・理由

宮崎県内における重症心身障がい（以下、重心）者は約 660 名と推計されております。一方で県内の当該領域の専門医療機関病床数は当院 126 床と国立病院機構宮崎病院 120 床の計 246 床のみとなっており、満床のため入院入所を長年待ってられる患者様が多数いらっしゃるというのが現状です。

他県と比較しても宮崎県の人口 1 万人当たりの重心病床数は極めて少なく（佐賀 7.01、熊本 4.32、長崎 4.21、宮崎 2.3）、隣県の鹿児島県でも満床のため受け入れが困難なことから、県内の重心対応病床を 60～100 床の増床をする事が喫緊の課題となっております。しかし昨今の医療人材不足や建築費高騰という観点から、急性期病床を維持しながらの増床が難しいというのが現状です。

一方で昨春の高速道路開通による大学病院とのアクセス向上等により当院急性期病床患者様の他院での入院受け入れに目途が立ったことから、県の重心医療の基幹医療機関としての使命に基づき、かつ平成 14 年に当法人が国より当院の移譲を受けた際の条件でもある「県内の重心医療を守る」という原点に立ち返り、このたび、急性期病床を一旦休床の後、慢性期病床に機能転換という形で重心病床の増床に踏み切る判断をいたしました。

4 現在一般病棟に入院している患者の扱い

一般病棟には令和 6 年 8 月 30 日現在で 7 名入院しているが、いずれも休床予定日までに転院予定。

5 病床再編後における当病院の役割

「病床再編の背景・理由」で示したとおり、病床については重心医療の更なる充実を図ってまいります。また、外来機能（内科・整形外科・小児科）も現状体制を維持し、引き続き地域医療の充実に貢献してまいります。